みやぎのだより No.104

みやぎの酪農農業協同組合広報誌

平成30年5月28日

畜舎環境美化コンクール表彰式

CONTENTS

畜舎環境美化コンクール表彰式・研修会開催…… 1
酪農動向調査について…… 1
宮城県酪農協会婦人研修会開催 …… 2
第69回通常総会・地区別説明会の開催について… 2
平成29年度 生乳需給状況について…… 3
輸入粗飼料情勢…… 5
牛群検定～宮城県の牛群検定の現状について～… 6
酪農技術シリーズ⑪ …… 7
暑熱対策について …… 9
理事会通信…… 9
業務報告 …… 10
編集後記 …… 11

畜舎環境美化コンクール表彰式・研修会開催

指導課

平成30年３月12日(月)本所大会議室において、平成29年度畜舎環境美化コンクール表彰式が行われ、入賞者に賞状と副賞が授与されました。最優秀賞の千田悦子さん、木村せい子さん、瀧口ひろみさんの３名は併せて宮城県農林水産部畜産課長賞を受賞され、宮城県農林水産部畜産課技師の佐藤文恵 様より賞状が授与されました。

また、研修会では、「施肥の基礎について～草花を丈夫に育てるために～」と題し雪印種苗株式会社千葉研究農場長の 立花　正 先生より講演をいただきました。

組合では、昨年度に引き続き環境保全意識の向上と消費者へのイメージアップを図るため、婦人部の皆様のご協力をいただき、５月下旬に組合員全戸へ花苗配布を行い、美化運動並びに美化コンクールを実施いたします。

平成30年度環境維持対策事業の一環として、ご協力方よろしくお願いいたします。

酪農動向調査について

指導課

平成30年２月１日現在の酪農動向調査結果をご報告します。

当組合については、生乳出荷戸数282戸、乳牛飼養頭数は11,295頭、１戸当たりの平均飼養頭数は40頭となっております。

前年２月と比較すると、生乳出荷戸数で12戸の減少で、飼養頭数は26頭の減少となりました。

(単位:戸・頭)

組合名	平成30年２月１日						平成29年２月１日						比較増減					
	出荷戸数	飼養頭数	経産牛		未経産牛18ヶ月以上	18ヶ月未満育成牛	出荷戸数	飼養頭数	経産牛		未経産牛18ヶ月以上	18ヶ月未満育成牛	出荷戸数	飼養頭数	経産牛		未経産牛18ヶ月以上	18ヶ月未満育成牛
			搾乳	乾乳					搾乳	乾乳					搾乳	乾乳		
みやぎの酪農仙南支所	109	5,621	3,135	393	720	1,373	110	5,524	3,144	362	633	1,385	-1	97	-9	31	87	-12
みやぎの酪農本所	125	4,183	2,800	381	332	670	135	4,333	2,864	377	423	669	-10	-150	-64	4	-91	1
みやぎの酪農登米事業所	48	1,491	1,029	167	81	214	49	1,464	1,009	176	102	177	-1	27	20	-9	-21	37
みやぎの酪農(計)	282	11,295	6,964	941	1,133	2,257	294	11,321	7,017	915	1,158	2,231	-12	-26	-53	26	-25	26
全農宮城県本部	80	2,744	1,840	277	299	328	83	2,791	1,889	275	308	319	-3	-47	-49	2	-9	9
宮城酪農	137	5,015	3,210	462	447	896	143	5,225	3,374	437	475	939	-6	-210	-164	25	-28	-43
合計	499	19,054	12,014	1,680	1,879	3,481	520	19,337	12,280	1,627	1,941	3,489	-21	-283	-266	53	-62	-8

宮城県酪農協会婦人研修会開催

宮城県酪農協会

３月８日仙台市「仙台 秋保温泉 岩沼屋」において、日頃研修機会の少ない酪農婦人および酪農乳業関係の女性社員並びに女性職員を対象とした「平成29年度宮城県酪農協会婦人研修会」を開催し、みやぎの酪農協、宮城県酪農協、酪農乳業関係から総勢67名が出席しました。

伊藤会長（みやぎの酪農協組合長）の挨拶、（一社）全国酪農協会の牧田推進部長より来賓の祝辞をいただいたあと、国際薬膳食育師特級師範など数々の資格を持っておられます 堀　桃 氏から『こころ・からだの自然治癒力をひきだす食養生法』～心は体の恋人♡薬膳で健康寿命を延ばそう～と題して講演が行われました。講演では、薬膳は季節や食べ物の持つ性質、味が体に与える影響など、いろいろな角度から考えて作る美味しい料理であり、献立を立てる目安として、自分は冷え症タイプか暑がりタイプかによって食べ物を選食し、それぞれの体質にあった食事を作りましょうとのことで、参加された婦人の方々は大変興味を惹かれた内容であったと思われます。

講演終了後の懇親会は、和気あいあいとした雰囲気で親睦を深めていました。

第69回通常総会・地区別説明会の開催について

総務課

下記の日程で開催いたしますので、多数のご出席をお願いいたします。

区　分	開催日時	会　　場	支部名
地区別説明会	平成30年６月12日（火） 午前10時30分	柴田郡村田町 【村田町中央公民館】	白石・七ヶ宿・角田・蔵王・柴田・丸森・仙台・名取
	平成30年６月13日（水） 午前10時30分	遠田郡美里町 【みやぎの酪農農業協同組合】	黒川・大崎・加美・遠田・鳴子・築館・一迫・瀬峰・石巻
	平成30年６月14日（木） 午前10時30分	登米市迫町 【宮城県農業共済組合迫支所】 （※旧迫地方農業共済組合）	迫・東和・中田・志津川・本吉・豊里
通常総会	平成30年６月27日（水） 午前10時30分	黒川郡大和町 【まほろばホール】	

平成29年度　生乳需給状況について

1. 全国（販売乳量）

平成29年４月～３月の受託乳量は6,983㌧、前年同期比99％増加しました。地域別には、北海道0.2％増加と回復しておりますが、都府県は2.4％と減少に歯止めがかかっておりません。

平成29年度 全国生乳受託実績

（単位：㌧、％）

地区名＼四半期別	第１四半期	前年比	第２四半期	前年比	第３四半期	前年比	第４四半期	前年比	平成29年度計	前年比
北　海　道	962,279	97.7	950,925	98.9	936,633	101.8	949,833	102.6	3,799,670	100.2
都　府　県	839,055	98.2	767,608	96.7	777,255	97.6	799,522	97.8	3,183,440	97.6
全　　国	1,801,334	97.9	1,718,533	97.9	1,713,888	99.9	1,749,355	100.4	6,983,110	99.0

2. 東北（販売乳量）

４月～３月の受託乳量は526,860㌧、前年同期比98.1％となっております。

平成29年度 東北生乳受託・用途別販売実績

（単位：㌧、％）

県＼四半期別	第１四半期	前年比	第２四半期	前年比	第３四半期	前年比	第４四半期	前年比	平成29年度計	前年比
青　　森	15,529	97.1	15,057	97.1	15,562	102.1	16,261	104.0	62,409	100.1
岩　　手	50,499	97.2	48,588	97.5	48,280	98.6	48,297	98.4	195,664	97.9
宮　　城	29,893	100.1	28,302	99.7	28,126	100.3	28,323	97.8	114,644	99.5
秋　　田	6,672	93.4	6,388	94.1	6,227	94.8	6,441	98.4	25,728	95.1
山　　形	16,176	97.0	15,118	96.9	14,708	96.9	14,692	94.3	60,694	96.3
福　　島	17,740	97.1	16,754	96.2	16,646	98.3	16,580	96.7	67,720	97.1
計	136,509	97.6	130,207	97.5	129,549	99.0	130,594	98.2	526,859	98.1

3. 用途別販売実績

東北の用途別販売実績は、４月～３月の飲用牛乳向け392,296㌧、前年同期比100％、特定乳製品向け42,207㌧、前年同期比90.3％となっております。その他の用途別については、はっ酵乳等向け81,342㌧、前年同期比105.9％、チーズ向け2,532㌧、前年同期比96％、生クリーム等向け8,481㌧、前年同期比45.3％となっております。

（単位：㌧、％）

用途＼四半期別		第１四半期	前年比	第２四半期	前年比	第３四半期	前年比	第４四半期	前年比	平成29年度計	前年比
総受託販売乳量		136,509	97.6	130,207	97.5	129,549	99.0	130,594	98.2	526,859	98.1
飲用等向け	飲用牛乳向け	99,004	99.6	99,506	100.9	98,469	100.5	95,317	99.0	392,296	100.0
	はっ酵乳等向け	22,537	104.2	20,310	99.3	18,912	111.0	19,582	110.5	81,341	105.9
乳製品向け	特定乳製品向け	12,521	91.7	7,912	84.6	8,389	84.6	13,384	97.0	42,206	90.3
	生クリーム等向け	1,771	39.4	1,810	40.8	3,141	60.0	1,759	38.5	8,481	45.3
チーズ向け		674	102.7	669	98.2	638	91.0	552	91.9	2,533	96.0
全乳哺育向け		2	70.3	0	0.0	0	0.0	0	0.0	2	17.5

4. 宮城県（販売乳量）

４月～３月の受託乳量は114,644㌧、前年同期比99.5％と前年並みとなっております。また、３月の出荷戸数は498戸と前年より22戸減少しております。

平成29年度 宮城県生乳受託販売実績

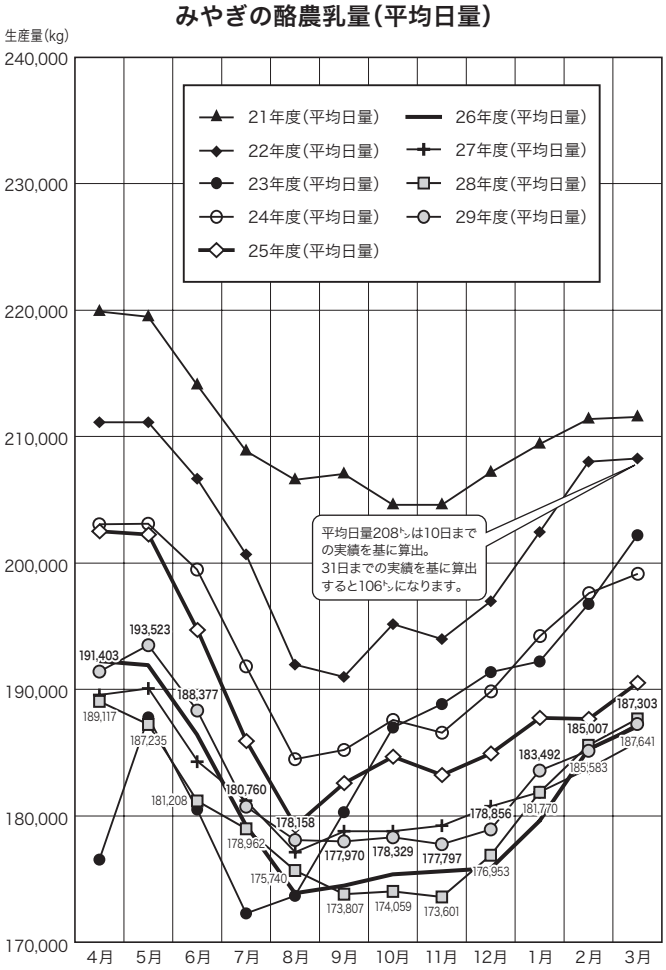
（単位：㌧、％）

団体名＼四半期別	第１四半期	前年比	第２四半期	前年比	第３四半期	前年比	第４四半期	前年比	平成29年度計	前年比
みやぎの酪農	17,314	102.3	16,431	101.9	16,383	102.4	16,619	99.8	66,747	101.6
全農宮城	4,545	96.5	4,302	97.0	4,289	99.3	4,270	98.1	17,406	97.7
宮城酪農	8,035	97.8	7,568	96.6	7,453	96.5	7,435	93.5	30,491	96.1
宮城県	29,894	100.1	28,301	99.7	28,125	100.3	28,324	97.8	114,644	99.5

5. みやぎの（バルク乳量）

４月～３月の受託乳量は66,939㌧、前年同期比101.6％と1.6％の増加となっております。また、３月の出荷戸数は281戸と前年より13戸減少しております。

みやぎの酪農乳量（平均日量）



平成29年度生乳生産実績（４月～３月 標準進度率100％）

（単位：kg、％）

支部名	戸数	バルク乳量	前年同期乳量	前年同期比	計画生産数量	進度率
白石支部	22	6,537,082.0	6,377,406.8	102.50	6,416,800.0	101.87
七ヶ宿支部	6	2,470,410.7	2,273,342.1	108.67	2,289,964.0	107.88
蔵王支部	26	8,278,179.4	8,182,327.7	101.17	8,242,155.0	100.44
柴田支部	17	4,168,953.2	4,220,418.0	98.78	4,235,113.0	98.44
角田支部	7	2,191,297.2	2,130,268.9	102.86	2,145,845.0	102.12
丸森支部	13	3,201,823.1	3,181,590.6	100.64	3,153,507.0	101.53
仙台支部	12	3,737,917.4	3,851,186.9	97.06	3,879,344.0	96.35
名取支部	6	912,643.0	954,344.0	95.63	961,322.0	94.94
黒川支部	6	1,251,047.0	1,477,758.0	84.66	1,400,428.0	89.33
大崎支部	19	3,531,856.0	3,600,401.0	98.10	3,626,724.0	97.38
遠田支部	16	5,992,673.0	5,903,736.0	101.51	5,946,902.0	100.77
加美支部	20	2,888,959.0	2,796,775.0	103.30	2,810,605.0	102.79
鳴子支部	13	2,185,221.0	2,311,817.0	94.52	2,309,079.0	94.64
一迫支部	12	3,053,933.0	2,976,633.0	102.60	2,966,924.0	102.93
築館支部	14	2,141,828.0	2,081,444.0	102.90	2,096,661.0	102.15
瀬峰支部	7	1,280,216.0	1,355,331.0	94.46	1,281,173.0	99.93
迫支部	13	4,438,318.0	3,694,989.0	120.12	3,722,005.0	119.25
中田支部	9	1,592,084.0	1,421,798.0	111.98	1,432,193.0	111.16
東和支部	7	1,212,560.0	1,234,599.0	98.21	1,237,517.0	97.98
志津川支部	9	1,422,838.0	1,251,365.0	113.70	1,260,516.0	112.88
本吉支部	9	986,657.0	1,062,779.0	92.84	1,070,549.0	92.16
石巻支部	6	1,074,841.0	1,111,679.0	96.69	1,097,936.0	97.90
豊里支部	12	2,388,259.0	2,409,503.0	99.12	2,359,738.0	101.21
みやぎの酪農	281	66,939,596.0	65,861,492.0	101.64	65,943,000.0	101.51

※出荷戸数については、直近の数字です。

輸入粗飼料情勢

購買課

❶北米コンテナ船情勢

米国西海岸北部の船腹は引き続きタイトな状況が続いています。また、業界再編などにより、特定の船社に予約が集中し、海上運賃一斉値上げの通知が６月１日付で各船社から出されました。

米国ではトラックの運転時間に制限が設けられ４ヶ月が経過しました。この規制と米国経済の好況により輸送能力の不足が発生し、港までの運搬が確保できず船積み遅れが増えてきております。

❷ビートパルプ　ＵＳ産

新穀の作付面積は昨年並みと見込まれております。生産量についても、一部では低温の影響で播種が遅れている地域もありますが、現時点で懸念すべき状況ではなく変動はないものと考えられます。

❸アルファルファ

オレゴン州のクラマス地方では、今冬の降雪不足により積雪量が例年の50％程度となり、州知事が干ばつ宣言を出しました。また慢性的な水不足によって、灌漑水の利用農家に対し使用量の制限が発表されました。しかし、アルファルファ農家の90％は地下水を利用しているため、生産量に影響はないと考えられています。また、作付面積を増やしている生産農家もいるようです。

クリスマスでの新穀の生育は、例年通りの状況で６月中旬ごろから刈取りが開始される見込みです。

❹チモシー

(A)ＵＳ産

17年産の産地在庫はほぼ成約済となっております。

新穀については、17年産の相場高騰を背景に作付面積が10％程度増加しました。生育は順調に進んでおり、天候が例年並みであれば６月上旬ごろから１番刈の収穫が開始される見込みです。

作付面積が増加したことから収穫量の増加が見込まれ、収穫が順調に推移すれば産地相場について軟化が期待されています。

(B)カナダ産

17年産の産地在庫はすべて成約済となっております。

新穀については、南部レスブレッジ地区の作付面積は10％程度増加、中部クレモナ地区及びその他の産地は例年並みと言われております。今のところ天候が安定しているため収穫時期は例年通り７月中旬以降に開始されると予想されます。

❺豪州産オーツヘイ

日本のみならず中国および韓国向けも堅調で、出荷は順調に進んでいるようです。現在のところ、中国･韓国は価格が安価な中間グレード以下に集中しており、日本向けとは棲み分けができている状況です。

産地では早くも18年産の作付けがスタートしています。東豪州および南豪州では作付面積は前年並み、西豪州については、やや減少するものと予想されています。

17年産の現行価格については、為替を除き大きな変動要因もないことから安定的な推移を見せています。

以上のような状況の中、安定供給に努めてまいりますのでご利用賜りますようよろしくお願いします。

牛群検定～宮城県の牛群検定の現状について～ 指導課

牛群検定は専門の検定員が毎月１回酪農家を訪問し、１頭毎の乳量・乳成分・繁殖成績・濃厚飼料給与状況などの基本情報を得て、経営改善や生産性の向上に役立てる事業です。

一昨年から本誌で定期的に牛群検定農家の優良事例を紹介させていただいてきましたが、今回は事例紹介を一旦お休みし、宮城県の牛群検定の現状等についてご紹介します。

●宮城県の牛群検定加入状況等について

宮城県の牛群検定の加入農家戸数と飼養頭数は右表のとおりです。加入割合は農家戸数で14.6%、頭数で19.0%と全国と比べると低い状況ですが、29年度には新たに牛群検定に加入した酪農家が１戸ありました。また、牛群検定を体験してみたい方に一定額を助成する「お試し検定」に取り組む酪農家も２戸あります。

牛群検定を実施している酪農家の平成28年度305日乳量は、全国で9,601kgと過去最高となっています。また、分娩間隔は432日となっています。

乳用牛飼養状況と牛群検定加入状況

	農家数（戸）	頭数（頭）
飼養状況	549	14,500
加入状況 （加入率）	82 （14.6%）	2,711 （19.0%）

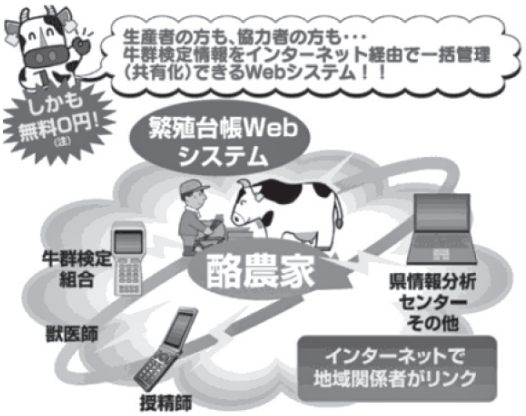
※加入状況は平成30年３月末現在
※飼養状況は農林水産省畜産統計（平成29年２月１日）から２歳以上の乳用牛頭数を抜粋

●牛群検定データの活用について

牛群検定実施農家で毎月集められたデータは、家畜改良事業団に集められ、各検定農家に検定成績表として送られる他、各県に１カ所設置されている情報分析センター（宮城県は宮城県畜産試験場）にも送られます。畜産試験場では、随時更新されるデータを検定組合毎に加工し、所管する農業改良普及センターに送ります。普及センターでは分娩後日数と乳量・乳成分との関係や繁殖成績などを分かりやすくグラフや表に加工したものを各検定農家に送り、生産性の向上や経営改善に役立てています。

●繁殖台帳Webシステムの活用状況について

平成29年５月発行の本誌でも取り上げさせて頂きましたが、本システムによりインターネットを通じて牛群検定成績をリアルタイムに活用できるようになりました。



そこで、県内の繁殖台帳Webシステム活用状況を把握するため、県内検定農家にアンケート調査を実施しました。その結果、ほぼ半分の検定農家がシステムを利用したことがあり、利用したことがある農家の約40%が、「週に２～３回」または「月に３～４回」利用と回答しています。また、システムの利用農家は「牛群全体の乳量・乳成分の把握」、「体細胞数の多い牛の特定」「リアルタイムな検定情報の把握」に効果があると回答しており、群管理・個体把握にバランス良く役立てていることが分かりました。

〔文責：宮城県畜産試験場酪農肉牛部乳牛チーム　熊谷〕

牛群検定には６ヶ月間無料で体験できるお試し検定事業があります。
牛群検定を始めてみようかな、と思われた方は下記までご相談下さい。

・宮城県ホルスタイン協会　〔（一社）宮城県畜産協会内〕　TEL：022-298-9750
・県南乳用牛群改良組合　〔（一社）宮城県畜産協会仙南事業所内〕　TEL：0224-52-2523
・県北乳用牛群改良組合　〔（一社）宮城県畜産協会中央事業所内〕　TEL：0229-34-3304

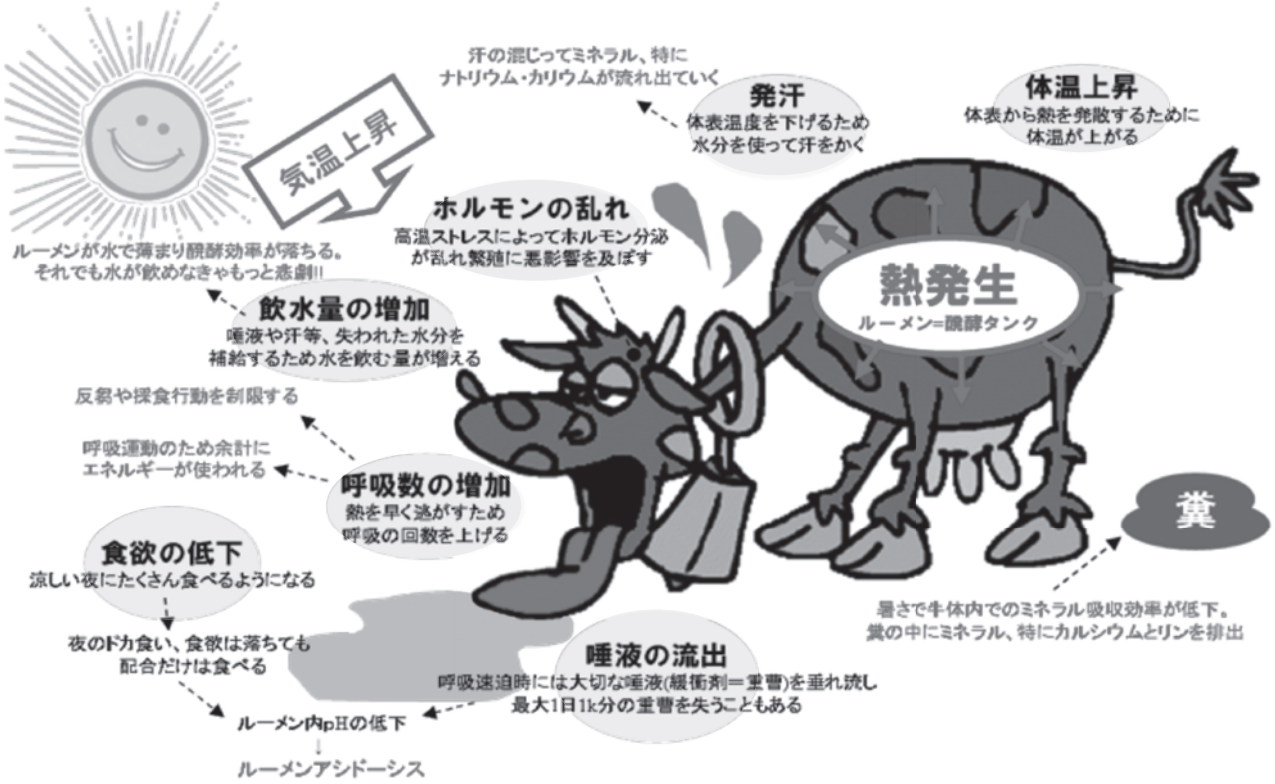
脱！暑熱ストレス

春になり人にとっては過ごしやすい季節になりましたが、牛にとってはどうでしょうか。

牛が快適に過ごせる温度は13℃～18℃と言われています。気温が22℃を超えてくると牛は暑熱ストレスを感じ始めます。そのため、春と言えども牛にとっては暑熱ストレスとの戦いが始まってきているということになります。今回は暑熱ストレスと基本的な対策についてご紹介させて頂きます。

1．暑熱ストレス

暑くなると牛はどうなる!?



暑さが原因で牛の行動・生理機能等に様々な変化が起こります。
このことを**「暑熱ストレス」**と呼び改善すべき大きな課題になっています。

2．暑熱ストレス対策

暑熱ストレス対策は、畜舎環境面と飼料給与面の対策があります。

● 畜舎環境面

＜牛舎の開放と乾燥・換気をしっかりと＞

【表１】(右ページ）は気温と湿度から牛の不快指数（ストレス度合い）をあらわした表になります。気温と湿度が高くなるほどストレスの度合いは大きくなり、牛への影響も大きくなります。そのため、牛舎を解放し、出来るだけ牛舎内の温度と湿度を下げ、牛にとって快適な環境にしてあげることが重要です。

＜送風機の利用＞

送風機により牛体に直接風を当てることで、体熱の放散量を高め、且つ、牛体から奪った熱を早く牛舎の外に出す効果が期待できます。送風機が汚れていると送風能力が低下しますので、送風機の掃除をすることをお勧めします。

＜その他＞

その他に牛の感じる暑さを軽減する方法としては、牛体の毛刈り、細霧システムの利用、牛体への散水などが挙げられます。

【表1】

気温 ℃	相対湿度 % 0	5	10	15	20	25	30	35	40	45	50	55	60	65	70	75	80	85	90
22.0	64	65	65	65	66	66	67	67	67	68	68	69	69	69	70	70	70	71	71
23.0	6	ストレスなし			66	67	67	68	68	68	69	69	70	70	71	71	71	72	72
23.5	65	66	66	67	67	67	68	68	69	69	70	70	70	71	71	72	72	73	73
24.0	66	66	67	67	68	68	68	69	69	70	70	71	71	72	72	73	73	74	74
24.5	66	67	67	68	68	68	69	70	70	71	71	72	72	73	73	74	74	75	75
25.0	67	67	68	68		ストレス限界		71	71	72	72	73	73	74	74	75	75	76	76
25.5	67	68	68	69	69	70	70	71	71	72	73	73	74	74	75	75	76	76	77
26.0	67	68	69	69	70	70	71	71	72	73	73	74	74	75	76	76	77	77	78
26.5	68	69	69	70	70	71	72	72	73	73				76	76	77	78	78	79
27.0	68	69	70	70	71	72	72	73	73	74	軽度ストレス			77	77	78	78	79	80
28.0	69	69	70	71	71	72	73	73	74	75	75	76	77	77	78	79	79	80	81
28.5	69	70	71	71	72	73	73	74	75	75	76	77	78	78	79	80	80	81	82
29.0	70	70	71	72	73	73	74	75	75	75	77	78	78	79	80				83
29.5	70	71	72	72	73	74	75	75	76	77	78	78	79	80	81		中度ストレス		
30.0	71	71	72	73	74	74	75	76	77	78	78	79	80	81	81	82	83	84	84

ストレス限界　呼吸数が60／分を越える。乳量低下が始まる。繁殖率が低下する。直腸体温が38．5℃を越える。

軽度ー中程度のストレス　呼吸数が75／分を越える。直腸体温が39℃を越える。

中程度ー重度のストレス　呼吸数が85／分を越える。直腸体温が40℃を越える。

(Hoard's Dairyman, Vol.156, No.8, APR. 25,2011)

● 飼料給与面

＜水の給与＞

１日に30kg泌乳する牛では、夏に１日120ℓ以上の飲水量が必要です。また、牛は水を飲みたい時に飲めなければ飲水をあきらめてしまいます。その為、牛が必要とする時に、必要とする量を与えてやることが大切です。

＜飼料の腐敗やカビ発生に要注意＞

夏季は、保存管理をしっかりと行わないと簡単にカビが発生します。腐敗した飼料を与えると暑熱ストレスで弱った肝臓や第一胃内の微生物に大きなダメージを与えてしまいます。特にカビは、給与量が多い少ないという問題ではありませんのでご注意下さい。

＜ビタミン・ミネラル等の適切な給与＞

夏季は暑熱ストレスによりビタミンAが多く消費されます。また、暑熱時におけるミネラル要求量も、適温時と比較して10～20％増加します。適量のビタミン・ミネラルを補給してあげることが大切です。

＜濃厚飼料の偏食に注意＞

牛は暑いと乾物摂取量が減少し、それに加え体温の上がる粗飼料より濃厚飼料を偏食しがちです。そのような状態だとルーメンアシドーシスを招きやすく、生産性低下に繋がります。粗飼料と濃厚飼料のバランスに注意して下さい。

＜消化性の良い粗飼料の給与＞

良質な粗飼料は、採食・反芻・ルーメン内発酵のスピードが短時間となり、第一胃の熱産生量が少なく体温上昇を防ぐ効果があります。

最後までお付き合い頂きましてありがとうございました。
夏の暑さから皆様の大切な愛牛を守る助けとなれば幸いです。

購買課

暑熱対策 添加物キャンペーン

今年も間もなく暑い夏がやってきます。６月から８月にかけて重曹・ビタミン・カビ吸着材等のキャンペーンを予定しております。

キャンペーン対象

- 重曹製品
- 暑熱対策混合飼料
- ビタミンプレミックス
- カビ毒対策混合飼料
- 肝機能補助混合飼料
- 油脂製品

※詳しい内容については、４月分乳代精算書の封筒でパンフレットを配布しておりますのでご確認下さい。

夏場の乳牛の健康管理・様々なストレスに対し、ぜひご利用下さい。

理事会通信

総務課

【第１２回理事会】

開 催 日　平成30年３月30日

付議事項
- 第１号議案　平成29年度決算基準(案)について
- 第２号議案　総務委員会及び業務委員会からの答申について
- 第３号議案　平成30年度借入金の最高限度の決定について
- 第４号議案　平成30年度貸付金の利率の最高限度の決定について
- 第５号議案　平成30年度同一人に対する信用供与(資金の貸付額、初妊牛リースの額、畜産環境整備リースの間接リースの額及び畜産近代化リースの額の合計額)の最高限度額の決定について
- 第６号議案　平成30年度の余裕金の運用について

【第１回理事会】

開 催 日　平成30年４月27日

付議事項
- 第１号議案　監事に提供する決算書類の承認について
- 第２号議案　固定資産(土地)の処分について

3月2日	宮城県牛群検定普及推進協議会	仙台市
	酪農経営支援総合対策事業全国会議	東京都
	石巻支部研修会	石巻市
	婦人部仙台支部研修会	仙台市
	(一社)Ｊミルク臨時総会	東京都
3月5日	東北酪農専門団体協議会研修会	仙台市
3月6日	東北生販理事会	仙台市
3月7日	家畜防疫互助基金支援事業業務推進会議	美里町
	酪農講演会	松島町
	牛の出荷制限解除に関する説明会	美里町
	日本酪農政治連盟常任･中央委員合同委員会	東京都
	宮城県酪農団体合理化検討会専門部会	本所
	日本酪農政治連盟総会	東京都
3月8日	宮城県酪農協会婦人研修会　～9日	仙台市
3月9日	宮城県総合畜産共進会運営委員会	仙台市
3月12日	ＤＭＳ相談会	本所
	ＤＭＳ相談会	仙南支所
	畜舎環境美化コンクール表彰式･研修会	本所
3月13日	(一社)中央酪農会議臨時総会･理事会	東京都
	全国生乳検査担当者研修会	東京都
3月14日	指定団体･会員組織、全国機関等役職員研修会	東京都
	宮城県北部家保管内畜産担当者会議	美里町
3月15日	青年部ボウリング大会	仙台市
	宮城県東部地方振興事務所管内畜産担当者会議	石巻市
3月16日	全酪連仙台支所管内ブロック会議	仙台市
	青年部登米支部研修会	登米市
3月17日	本吉支部親睦グランドゴルフ大会	気仙沼市
3月19日	決算研修会	名取市
	全国和牛能力共進会宮城県実行委員会幹事会	仙台市
	東北酪農青年女性会議酪農発表大会　～20日	福島県
	全国和牛能力共進会宮城県実行委員会総会	仙台市
3月20日	監事決算研修	名取市
	(一社)宮城県畜産協会理事会	仙台市
	みやぎまるごとフェスティバル実行委員会･幹事会	仙台市
3月22日	遠田支部役員会	本所
	東北生販臨時総会･理事会･監事会	仙台市
	学校給食用牛乳供給推進協議会･担当者会議	仙台市
3月23日	(一社)全国酪農協会役員会	東京都
3月28日	青年部仙台支部ボウリング大会	仙台市
	宮城県酪農団体協議会事務担当者会議	本所
3月30日	日本酪農政治連盟宮城県支部連合会監査	本所
	宮城県農協中央会臨時総会	仙台市
	第12回理事会	本所
	国産チーズ生産奨励事業乳質基準等策定会議	仙台市
	東北生販支所実務担当者会議	仙台市
	日本酪農政治連盟宮城県支部連合会役員会･総会	本所
3月31日	期末棚卸監査	仙南支所他
4月2日	期末棚卸監査	本所
	大崎支部総会	大崎市

業務報告

総務課

4月3日	丸森支部総会	丸森町
4月4日	2区区域推薦委員会	本所
	3区区域推薦委員会	登米事業所
4月5日	1区区域推薦委員会	仙南支所
4月6日	(一社)全国酪農協会役員会	東京都
	(一社)全国酪農協会酪農講演会・NW委員会	東京都
4月9日	築館支部総会	栗原市
4月10日	一迫支部総会	栗原市
	全酪連役員選考委員打合せ	仙台市
4月11日	瀬峰支部総会	栗原市
	機械導入事業要望調査説明会	美里町
4月12日	角田支部総会	角田市
	みやぎの小牛生産基盤復興支援事業説明会	美里町
4月13日	全日本ブラックアンドホワイトショウ　～14日	静岡県
	蔵王支部総会	蔵王町
4月16日	豊里支部総会	豊里町
	「畜産みやぎ」上半期編集委員会	仙台市
4月17日	石巻支部総会	石巻市
	東北酪農生産研究会会員職員交流研修会　～18日	大郷町
	宮城県北部地方振興事務所管内農政推進会議等	大崎市
4月18日	鳴子支部総会	大崎市
4月19日	第1回支部長会議　～20日	松島町
	Jミルクブロック会議	仙台市
4月20日	みやぎの酪農協クラスター協議会総会	本所
	気仙沼市本吉放牧場入牧式・牛魂祭	気仙沼市
4月23日	白石支部総会	白石市
4月24日	遠田支部総会	美里町
	宮城県酪農団体合理化検討会専門部会	本所
4月25日	宮城県酪農ヘルパー事業運営強化対策事業現地調査	本所
	上原酪農組合総会	大崎市
	加美支部総会	加美町
	宮城県北部家保事務所管内畜産担当者会議	美里町
4月26日	宮城県東部地方振興事務所管内畜産担当者会議	石巻市
	宮城県東部家保管内畜産担当者会議	登米市
4月27日	第1回理事会	本所
	㈱みやぎの運送取締役会	本所
4月29日	㈱ゼルコバドリーム「牧場開き2018」	蔵王町

[編集後記]

5月に入り、爽やか風がふき新緑の季節となって、今年の田植え作業も終わりに近づいたようです。

緑には目の疲れを癒しリラックス効果があると言われています。

これからの季節、紫外線も強くなり、確実に梅雨や夏に向かっている事を感じますね。

発行

遠田郡美里町北浦字道祖神前16

みやぎの酪農農業協同組合

TEL.(0229)34-2311(代表)